

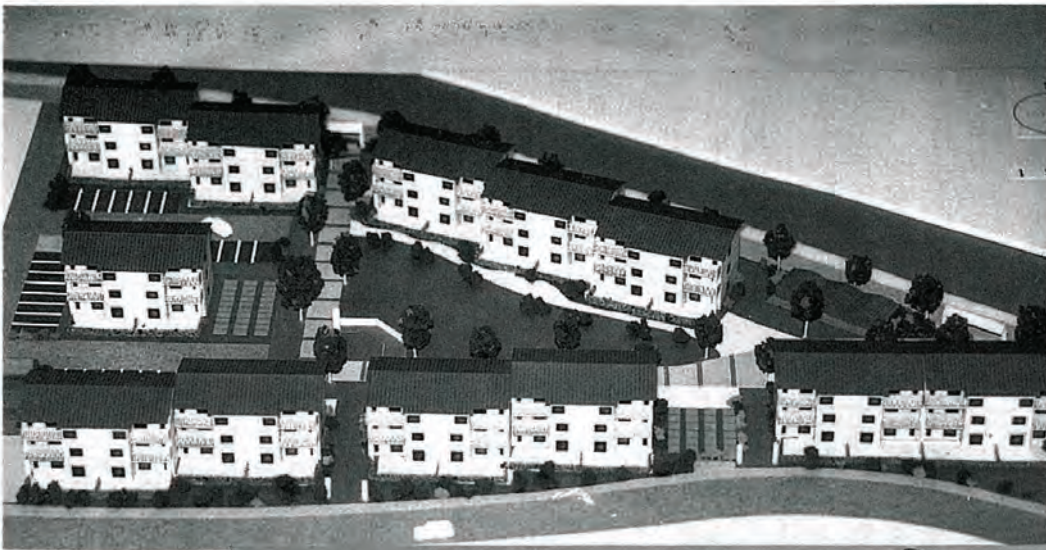
広報

# まぎ

第177号

平成2年

予算特集号



## 末永地区町営住宅建設

- ◇ 今までの公営住宅のイメージを一新した新しいデザインの町営住宅 ◇
- ◇ 建設が、口石の末永地区で進められています。この団地は全部で72 ◇
- ◇ 戸建てられますが、その内24戸が今年の秋頃完成する予定です。 ◇

# 心のふれあう活力ある町づくり

## 3月定例町議会で審議

### 清原町長の施政方針



佐々町長  
清原恵一郎

激動の八〇年代が終わり、いよいよ九〇年代の幕開けとなった今年度は、本町にとって町制施行五十周年を迎える記念の年であります。

私は節目の年にあたり、「心のふれあう活力ある町づくり」をめざして、町政の推進に努めてまいります。

本年度の重点施策としまして、①干拓地の活用②農業の

平成二年度予算案を審議する三月定例議会が、三月十二日から二十二日まで開かれ、総額三十四億二千百万円の一般会計当初予算などを審議しました。

(下段の予算書参照)

清原町長の施政方針にあるように、行財政改革によって経費の節減をはかり、重点施策に掲げた七項目の事業を進めるため使います。

振興③商工業の振興④福祉の充実⑤健康づくりの推進⑥生活環境の整備⑦教育の振興を目標に前年度実績をふまえて補助対策事業等制度的なものを有効に活用し、新年度予算をつくりました。

財政面は、国の税制改革等に伴い、地方交付税の増加は少々見込まれるものの、町税の伸びは余り期待できず、全体的には経常一般財源の大きな伸びは見込まれず、財政的には依然として厳しいものであり引き続き行財政の簡素化と経費の節減合理化に努め、

特に経常経費については、厳しく抑制しながら、国・県の補助制度等を積極的に活用し、時代に即応したものの、また住民の要望等の高いものから推進していくべく、予算編成を行ないました。

行政面では、高齢化社会の進展に対応し、福祉の充実、健康づくりの推進、更に長期的展望に基づく計画性のある政策の推進のため、本年一月機構改革等を実施し、住民ニーズにこたえるべき、町政の振興に一層の努力を致す所存でございます。

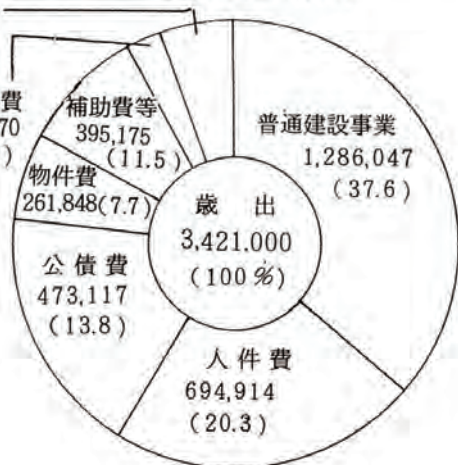
## 町税収入は六億円余り

まず一般会計の歳入についてみてみましょう。

総額三十四億二千百万円のうち、町税が六億六千二百五十万三千円(十九・四%)、地方交付税十二億八千万円(三十七・四%)、町債四億六千二百五十万(十三・五%)、国庫支出金六億六千三百六十五万八千円(十九・四%)、繰入金九千六百八十三万八千円(二・八%)、その他二億五千五百八十五万一千円(七・五%)となっております。

表1 性質別歳出状況

単位 千円( ) 内は%	
積立金	17,474 (0.5)
失業対策事業	55,911 (1.6)
繰出金	55,189 (1.6)
維持費	33,678 (1.0)
その他	204,229 (6.0)
扶助費	105,670 (3.1)
補助費等	395,175 (11.5)
物件費	261,848 (7.7)
公債費	473,117 (13.8)
人件費	694,914 (20.3)
普通建設事業	1,286,047 (37.6)
貸付金	1,288 (0.004)
投資及び金	240 (0.0007)
災害復旧業	1 (0.000003)
予備費	40,448 (1.2)



会計別予算額

一般会計		3,421,000 万円
特別会計	国保	748,100 万円
	水道	302,611 千円
	診療所	153,080 万円
	老人保健	685,275 千円
総額		5,310,066 千円

# 総額53億1,006万6千円

## 道路新設・改良、庁舎改造など

### 一般会計歳入歳出予算

歳入

歳出

(単位：千円)

款	項	金額
1. 町 税		662,153
	1. 町 民 税	320,457
	2. 固 定 資 産 税	269,938
	3. 軽 自 動 車 税	13,194
	4. 市 町 村 た ば こ 税	57,604
2. 地 方 譲 与 税		71,448
	1. 消 費 譲 与 税	35,448
	2. 自 動 車 重 量 譲 与 税	20,000
	3. 地 方 道 路 譲 与 税	16,000
3. 利 子 割 交 付 税		3,402
	1. 利 子 割 交 付 税	3,402
4. 自 動 車 取 得 税 交 付 金		21,000
	1. 自 動 車 取 得 税 交 付 金	21,000
5. 地 方 交 付 税		1,280,000
	1. 地 方 交 付 税	1,280,000
6. 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金		500
	1. 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	500
7. 分 担 金 お よ び 負 担 金		58,531
	1. 負 担 金	58,531
8. 使 用 料 及 び 手 数 料		56,760
	1. 使 用 料	51,578
	2. 手 数 料	5,182
9. 国 庫 支 出 金		484,688
	1. 国 庫 負 担 金	75,865
	2. 国 庫 補 助 金	403,165
	3. 委 託 金	5,658
10. 県 支 出 金		178,970
	1. 県 負 担 金	34,726
	2. 県 補 助 金	130,040
	3. 委 託 金	14,204
11. 財 産 収 入		20,715
	1. 財 産 運 用 収 入	20,663
	2. 財 産 売 払 収 入	52
12. 寄 附 金		1
	1. 寄 附 金	1
13. 繰 入 金		96,838
	1. 基 金 繰 入 金	96,838
14. 繰 越 金		1
	1. 繰 越 金	1
15. 諸 収 入		23,493
	1. 延 滞 金 加 算 金 及 び 過 料	100
	2. 預 金 利 子	10,000
	3. 貸 付 金 元 利 収 入	300
	4. 雑 入	8,093
	5. 産 炭 地 域 振 興 臨 時 交 付 金	5,000
16. 町 債		462,500
	1. 町 債	462,500
歳 入 合 計		3,421,000

款	項	金額
1. 議 会 費		79,938
	1. 議 会 費	79,938
2. 総 務 費		409,743
	1. 総 務 管 理 費	279,359
	2. 徴 税 費	59,454
	3. 戸 籍 住 民 基 本 台 帳 費	23,326
	4. 選 挙 費	1,961
	5. 統 計 調 査 費	3,014
	6. 国 土 調 査 費	41,527
	7. 監 査 委 員 費	1,102
3. 民 生 費		339,754
	1. 社 会 福 祉 費	137,270
	2. 児 童 福 祉 費	202,479
4. 衛 生 費		207,678
	1. 保 健 衛 生 費	107,020
	2. 清 掃 費	95,265
	3. 上 水 道 費	1,053
	4. 診 療 所 費	3,900
	5. 保 健 衛 生 諸 費	440
5. 労 働 費		59,521
	1. 失 業 対 策 費	154
	2. 産 炭 地 域 開 発 就 労 事 業 費	55,757
	3. 労 働 諸 費	3,610
6. 農 林 水 産 業 費		282,971
	1. 農 業 費	216,707
	2. 林 業 費	65,869
	3. 水 産 業 費	395
7. 商 工 費		8,646
	1. 商 工 費	8,646
8. 土 木 費		1,021,835
	1. 土 木 管 理 費	44,365
	2. 道 路 橋 梁 費	225,390
	3. 河 川 費	34,018
	4. 港 湾 費	50
	5. 都 市 計 画 費	128,471
	6. 住 宅 費	589,541
9. 消 防 費		122,916
	1. 消 防 費	122,916
10. 教 育 費		374,420
	1. 教 育 総 務 費	38,972
	2. 小 学 校 費	104,068
	3. 中 学 校 費	49,121
	4. 幼 稚 園 費	26,214
	5. 社 会 教 育 費	71,663
	6. 保 健 体 育 費	84,382
11. 災 害 復 旧 費		1
	1. 農 林 水 産 施 設 災 害 復 旧 費	1
12. 公 債 費		473,127
	1. 公 債 費	473,127
13. 諸 支 出 金		2
	1. 普 通 財 産 取 得 費	2
14. 予 備 費		40,448
	1. 予 備 費	40,448
歳 出 合 計		3,421,000

# 表2 平成2年度一般会計歳入歳出内訳

## 町税の内訳

(単位：千円)

区 分	金 額
町 民 税	320,457
固 定 資 産 税	269,938
軽 自 動 車 税	13,194
市町村たばこ税	57,604
特別土地保有税	960
合 計	662,153

単位 千円 ( )内は%

### ・その他の内訳

地方譲与税	71,448	財産収入	20,715
使用料及び手数料	56,760	利子割交付金	3,402
分担金及び負担金	58,531	交通安全対策	
自動車取得税交付金	21,000	特別交付金	500
諸 収 入	23,493	寄 付 金	1
		繰 越 金	1

## 町民一人(一世帯)当たりの予算額

(平成2年3月末人口12,143人, 世帯数3,734)

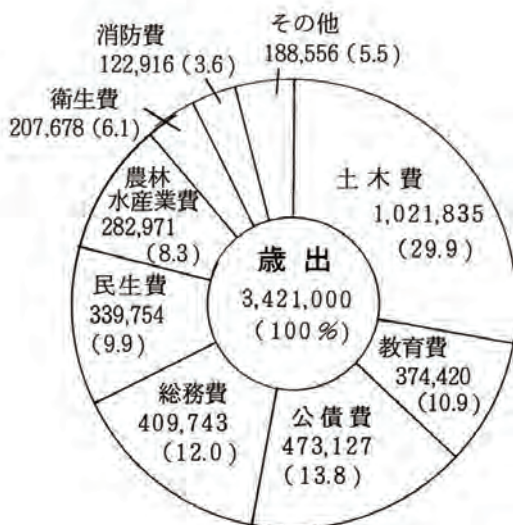
負担する	1人当り 54,529円	使われる	1人当り 281.726円
町 税	1世帯当り 177,330円	お 金	1世帯当り 916.175円



単位 千円 ( )内は%

### ・その他の内訳

議会費	79,938	予備費	40,448
労働費	59,521	諸支出金	2
商工費	8,646	災害復旧費	1



事業名	事業名
・排水特別対策事業(大新田)	・庁舎改造工事
・中山間地域活性化対策事業(東部)	・カーブミラー取付取替工事
・団体営農道整備事業(赤崎地区)	・防災無線装置機器変更工事
・構造政策推進モデル集落整備事業	・老人センター改造工事
・林業地域総合整備事業	・老人センター浴場給湯管取替工事
・森林地域活性化緊急対策事業	・公営住宅環境整備工事
・間伐材利用拡大施設整備事業	・第2保育所整備工事
・小浦都市下水路改修事業	・健康センター増設工事
・交通安全施設等整備事業	・土地改良施設維持管理適性化事業(四ッ井樋)
・公営住宅関連施設整備事業	・土地改良施設維持管理適性化事業(佐々千拓分)
・公営住宅建設事業 17人	
・〃(債務負担分)	
・佐々小学校大規模改造事業(アスベスト)	・佐々町農業振興補助金
・南部地区町民体育館建設事業	・町道改良舗装工事
・ディ・サービスセンター整備事業	・排水路整備事業
	・河川台帳作成委託料
	・河川改良、護岸整備事業
	・佐々川河川公園整備事業
	・下水道事業設計委託料
	・外国青年招致事業
	・佐々小学校施設整備事業
	・口石小体育館屋根塗装工事
	・佐々中学校プール補修工事他
	・中央町公民館建設補助金
	・公営住宅関連施設整備事業
	・公営住宅建設事業
	・南部地区体育館建設事業
	・新町児童公園フェンス工事他
	・公営住宅康設事業(債務負担)

# お金の使われ方

## 心のふれあう

## 町づくり事業

### ―総務―

平成三年一月に町制施行五十周年を迎えるための経費、高齢者並びに身体障害者等の利便を図るため、庁舎改造費



町民の行政サービスの向上を図るため今年一月の機構改革で新設された総合受付。窓口が改善されて、手続きも便利になりました。

等を計上しております。また平成元年中に機構改革を行ない企画課の充実強化を図り、新千拓地の企業立地、商工の振興、イベント事業等の一本化を図りました。

干拓地の利用としましては、新千拓地の企業誘致、新しい街づくりを進める商店街開発整備計画、ホテルの里、皿山公園、佐々川河川公園を一体とする西部自然公園構想等、町政活性化のための調整業務事務費を計上しております。

町内会会長事務交付金	12,641	千円
財政調整基金積立	5,000	
土地開発基金積立	1,524	
減債基金積立	1,500	
納期前納入報奨金	4,358	
広域圏への電算処理委託料	5,470	
広報防災費	4,527	
商工業振興費	5,188	
観光費	3,303	

ふるさと創生費については佐々町心のふれあう活力ある町づくり事業審査委員会を設置し、基金を源資とし、その運用益及び取崩しによって人材育成、イベント、産業振興等に助成するため計上しております。

国土調査は、小浦第二地区一・六九kmの現地調査及び測量、小浦第一地区の地籍図作成、地積測量及び閲覧等を実施します。

## 誰もが健康で生きがいをもって

### ―福祉―

二十一世紀の長寿社会に向けて、ますます増大、多様化する福祉ニーズにきめ細かく応えていくため、在宅福祉・地域福祉を柱に、民生委員、社会福祉協議会等各種団体と連携を図りながら、誰もが健康で生きがいをもって暮らすことのできる「ふれあいのある福祉」を基本として福祉の向上に努めます。

社会福祉費については、身体障害者の福祉医療費について、障害程度4級まで医療費助成を拡大し、身体障害者の経済的・精神的負担の軽減を



デイサービスによる絵画指導

図ります。

また、老人福祉については国の「高齢者保健福祉推進10カ年戦略」の在宅福祉対策の推進に添って、在宅要援護者の掘り起こしをし、ホームヘルパーの増員、ショートステイの活用の普及、小規模デイサービス事業を国の基準C型のデイサービス事業に移行させるため、老人福祉センターの一部改造、送迎車の導入をし、在宅老人デイサービスセンターを設置して、各種のサービスを行います。高齢者の生きがい対策としては、生きがいと創造の家の活用、シルバーバンクの充実

強化を図り、老人福祉の充実に予算を計上しております。

### ―健康づくり―

#### 環境衛生―

#### 生涯を通じた健康づくりの推進

健康は、人の活動基盤であります。そこで今回、健康づくりを推進するため保健課を独立させ、総合的な保健対策に取り組むことにしました。

本年は基盤整備として健康センターの増改築をし、検診あるいは相談業務の円滑に行えるように致します。また生涯を通じた健康づくりのためコンピュータを導入し、住民の皆様の健康管理を行ない統計分析をして、疾病の予防に役立てたいと思います。

健康づくりは、「体の健康」「心の健康」「生活環境の健康」を指すものです。

町をきれいにする手始めとして、公衆便所の改修、町民大清掃の日を設け、清潔な町づくりを目指したいと思っております。

更に成人病の予防には、検診が重要ですからこの検診を受けやすくするため、受診料を昨年に引き続き無料とします。

町村福祉協議会運営費補助	8,501	千円	老人クラブ助成	1,498	千円
民生員活動費補助金	1,541		民間保育園委託料	32,526	
福祉医療費	9,960		老人保健特別会計繰出	34,189	
国民健康保険会計繰出	17,100		各種検診・予防接種	8,800	
国民年金電算事務処理委託料	1,256		塵芥組合への負担金	56,532	
敬老年金	8,000		し尿組合への負担金	36,304	
老人センター運営委託	7,620		水道企業会計補助(消火栓管理)	1,053	
ディサービス事業委託	7,500		診療所会計繰出	3,900	
シルバーバンク事務委託	1,188		健康づくり推進費	440	
老人センター改築工事他	14,850				

## 活力ある むらづくりを 目指して

### ―農林水産業―

今日の農業情勢は、農産物の需用減少に伴う価格の低迷、牛肉・オレンジに続いて、米までも輸入自由化の外圧を受け、水田農業確立対策の転作面積拡大・かんきつ園地再編対策など極めて厳しい状況が継続しております。食糧の安定供給と希望ある21世紀の農業を迎えるために経済環境は数多くの課題をかかえておりますが、とりまく経済環境の見通しは悪くなるばかりであります。希望ある21世紀の農業を迎えるために、今こそ現実を直視し、新たな観点か

ら農業の基本を見直し、足腰の強い農業経営を確立し、「活力ある村づくり」を進めるべきであります。そのためにも農業団体及び農家の方々と連絡を密にし、知恵を出し合い新しい施策について検討し取り組んでまいります。

農業委員会では、中核的担い手農家の育成確保・農用地の利用集積による経営規模拡大と有効利用を促進し、農業の体質強化によって産業として成り立つ農業経営を育成するため、地域農業担い手経営能力向上推進事業等を実施します。

水田農業確立対策事業については、平成元年度で三ヶ年が経過し、今年度より後期対策が三ヶ年実施されます。水田の有効利用の観点から、転作物の充実を図るため、農

業改良普及所等指導助言を受け、農協とも連携をとりながら推進に努め、水田農業の確立及び生産性の向上を図ります。

構造政策推進モデル集落整備事業について、本年度は大茂地区で農地基盤整理三・五ヘクタールを実施し、中核的担い手農家等の育成また、経営規模の拡大、農用地の有効利用、農地の流動化を図り、作付の集団化等の推進に努めます。

みかん対策について、オレンジ輸入自由化対策で行われている、かんきつ園地再編対策事業を円滑に推進するため予算を計上し、今後は根本的な品質の改善のため改植並びに高接更新を行い産地間競争に打ち勝つみかんの銘柄確立を図るため予算の計上をいたしております。

畜産振興については、牛肉輸入自由化対策として畜産農家の経営の安定と向上を図るため、今年度より二ヶ年間肉用牛経営規模拡大事業を実施し、繁殖雌牛五〇頭の導入を行うため予算を計上いたしました。

基盤整備については、平成二年度より中山間地域農村活性化総合整備事業をスタート

させ、町に於いても東部地区を平成三年度より工事着手するため、今年度は調査費を予算計上しております。

林業については、緑豊かな国づくりを推進するため、国土の保全と林農生産基盤の整備を基本に林業振興を図ります。今年度は林業地域総合整備事業の継続事業として予算計上し、大茂市瀬線法面保護工事、古川真竹谷線の改良延長四六〇メートル及び舗装工事延長一、四七九メートルを実施します。なお補助で対応できない林道については、林道維持管理費により整備を進めます。その他、北松森林組合へ指導及び運営費の補助を行います。また、森林地域活性化緊急対策事業により成育途上にある人工林の質的な整備を図るため、間伐・保育を実施するとともに、間伐材利用(ログハウス)による佐々駅舎新築工事の予算を計上しております。水産業については、佐々川内水面振興協議会に補助を行い、水産動物資源の対応及び保護培養に努めます。また白魚など水産資源のより有効利用について研究、検討をいたしたいと考えています。

農業委員会費	19,694	千円
農業振興費	13,702	
学童農園施設管理費	13,303	
畜産総合対策事業費	4,821	
農地費	47,146	
団体営農道整備事業(赤崎地区)	27,472	
林業振興費	2,029	
林業地域総合整備事業(古川真竹谷線・大茂市瀬線)	41,065	
農業総務費	38,578	
畜産業費	3,420	
構造政策推進モデル集落整備事業費	42,680	
間伐材利用拡大施設整備事業費	20,600	

## 住民環境整備へ

### 公共下水道整備事業

#### 建設・消防

土木費については、住民の要望である生活道路、河川、公園の整備等緊急性の高いもの、また前年度から継続して施行しております箇所を、重点に施行いたします。今年度の公共下水道事業については事業認可申請、調査設計に着手します。補助事業としては、公営住宅の建設を継続して行い、都市下水道事業として、小浦地区の浸水地域解消のため排水ポンプ等の実設計委託費を計上しております。

消防費については、広域消

おける一員としての自覚を持

防事務負担金を計上し、非常備消防では、消防施設の年次の整備を図るため、本年度は第四分団の消防自動車購入費を計上しております。なお電波法の改正により、移動系無線装置機器変更工事費を計上しております。

## 社会教育

### 学校教育の

#### 振興を!

#### 教育

本年度の学校教育の基本理念としては、児童・生徒が自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力の育成を図るとともに、基礎的、基本的な内容の充実を図ります。特に、中学生には、社会に

たせるとともに、今後の国際化に対応するには語学の習得が必須であり、米国人英語指導手を招致し、その向上を図ることとしております。青少年の健全育成の推進のため、健全育成会、PTA、子供会育成会との連絡を密にし、青少年の非行防止につとめます。学童農園については、利用しやすいよう使用料につ

道路維持	30,378	千円
道路新設改良 (木場線外)	170,062	
河川改良	30,300	
公園管理	5,001	
小浦都市下水路 改修調査	75,000	
公営住宅管理	30,013	
消防団員活動費	35,239	
広域消防負担金	74,195	
消防施設費	13,209	
災害対策費	273	
交通安全施設等整備 事業費	20,000	
下水路整備事業費	4,950	

教育委員会費	1,109	千円	幼稚園教育振興費	641	千円
事務局費	33,963		社会教育総務費	29,829	
小学校管理費	64,064		少年健全育成事業	3,138	
小学校教育振興費	9,844		文化財費	516	
小学校大規模改造事業	30,160		公民館費	26,292	
中学校管理費	38,384		文化会館費	11,888	
中学校教育振興費	10,237		保健体育総務費	4,851	
幼稚園管理費	25,573		体育施設費	6,091	
外国青年招致事業	3,900		社会体育施設整備費	73,440	

六十三年度決算から、公債費残高は二十八億九千七百七十五万五千円で、平成元年度末見込残額では、三十億四千三百八十三万円となっております。

## 健全な財政運営を 公債費



生徒数の増加により昨年度増築された中学校校舎

いて配慮することとしております。諸施設については、昨年の口石小学校に続き、佐々小学校体育館のアスベスト除去工事等、学校施設の改善を行い、また社会教育についても地域住民の健康と体力向上のため南部地区体育館を建設することとしております。

起債の目的	限度額 千円	起債の目的	限度額 千円
産炭地域開発就労事業 (町道真中、美渡世越線道路新設 工事)	6,100	公営住宅債務負担金	54,000
団体営農道整備事業 (赤崎地区)	13,500	消防施設整備事業	9,700
林業地域総合整備事業 (古川真竹谷線) (大茂市瀬線)	9,400	中学校校舎増築事業	26,300
町道木場線改良工事	57,000	町道赤崎線支一1改良工事	2,300
町道中央海岸線改良工事	28,500	町道四ッ井樋橋線改良工事	3,400
佐々川河川公園整備事業	15,000	町道大岳線改良工事	3,400
小浦都市下水路改修工事	13,500	交通安全施設等整備事業費	28,500
公営住宅建設事業	48,700	谷頭川河川改良工事	4,900
		志方川	6,400
		川添川	2,700
		南部地区体育館整備工事	47,000

# 特別会計

## 国民健康保険

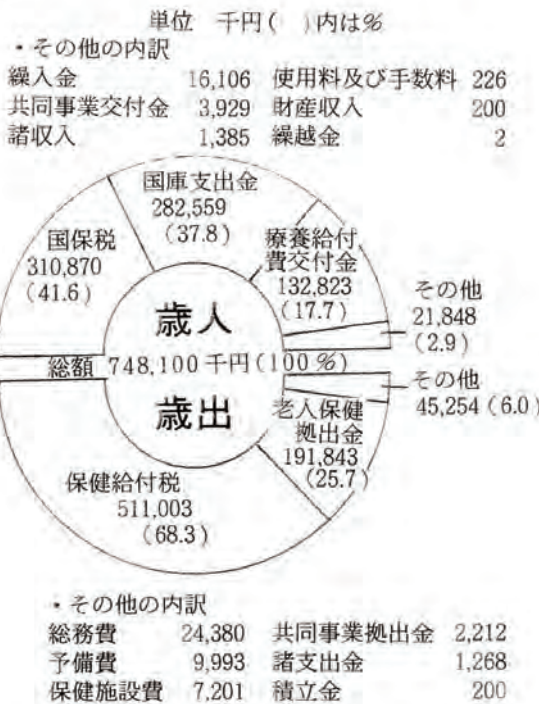
「国保基盤安定制度の確保」「財政調整機能の強化」「高額医療費共同事業の助成」「老人保健拠出金国庫負担の合理化」(国庫負担率52・3%↓50%)等の強化、充実を実施します。

### 歳入

保険税、国庫支出金、退職者医療交付金等は前年度実績で計上。特別調整交付金はヘルスパイオニアタウン事業分として五百万円計上しています。

### 歳出

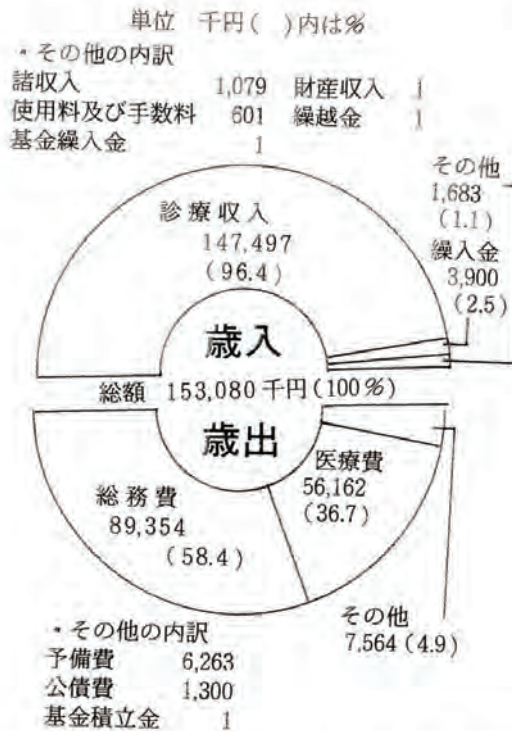
保険給付費は、医療費の過去三ヶ年の実績で計上。老人保健拠出金は前々年度の実績で一九一八四三千円を計上しています。



## 診療所

### 歳入

診療収入は、入院患者一日

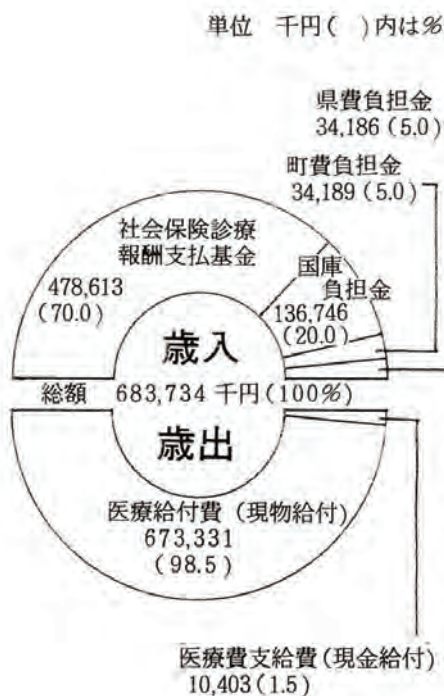


### 歳出

職員一〇名分の人件費と臨時、パート雇用経費、一般経費など八千九百三十五万四千円を総務費に計上。医薬費として薬品材料費、給食費、医療器機費など五千六百六十六万二千円を計上。その他公債費予備費などを含め歳出合計一億五千三百八十八万八千円となります。

## 老人保健

昭和五十八年二月、老人保健法が始まってから数回の制度改正があり、本年度は、対象者の増加、医療費改定による増加、自然増を見て七・九%の伸びを予定して計上。医療費内訳は次のとおりです。





# 水道事業

水道事業会計では、「おいしくて、安い水を町民に」をモットーに、水道課員一同、鋭意努力しておりますが、未だ高部地域に未給水地区（角山地区と栗林、黒灰、神田、北の一部地区）があります。この解消については、地域の特殊性及び財政事情等を考慮しながら検討すると共に、宅地開発等による給水の増加に

対応すべく、長期的展望にたつて給水の安定と水質の保全に努めます。

なお、業務量は、①給水件数月平均四千五十件、②普及率九十八％、③年間給水量百十八万トン、④有収水量九十六万八千六百トン（有収率八十二％）を見込んでおります。

◎収益的收入と支出  
一億五千七百六十三万二千元（対前年度二・二％減）  
収益的收入並びに支出の内訳

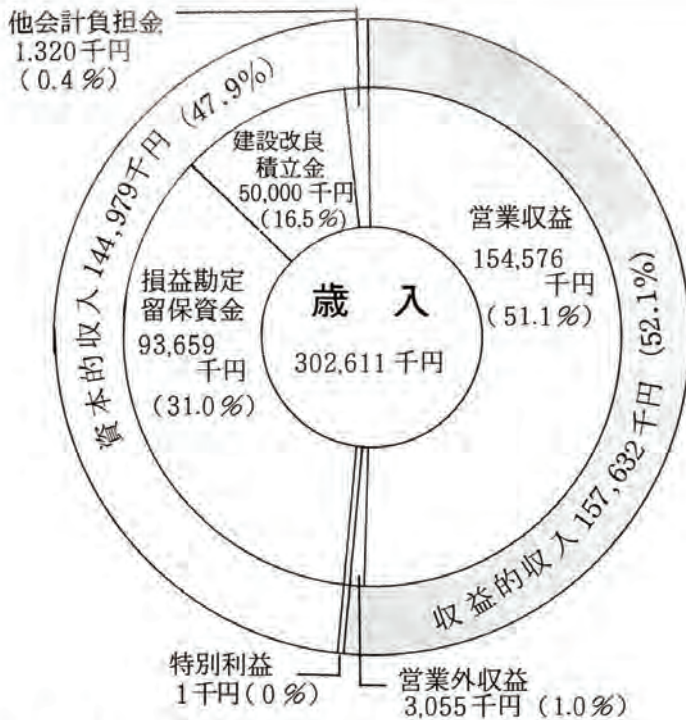
は「表」のとおりです。

◎資本的收入と支出  
一億四千四百九十七万九千元（対前年度二五四・九％増）

資本的收入は、他会計負担金百三十二万円を計上しております。

資本的支出は、北部地区配水池の新設費、老朽配水管の改良及び漏水調査費等一億三千二百二十九万七千元、企業債償還金千二百六十八万二千元を計上しております。

なお、支出に対して収入が不足する分は、過年度留保資金と建設改良積立金で補填します。



## 営業収益

項目	金額	対前年度伸び率	備考
給水収益	153,500	0.3	需用増0.3％ 消費税3％
受託工事収益	120	0	
他会計負担金	234	0	消化栓維持管理負担金117基
その他収益	722	0	

## 営業外収益

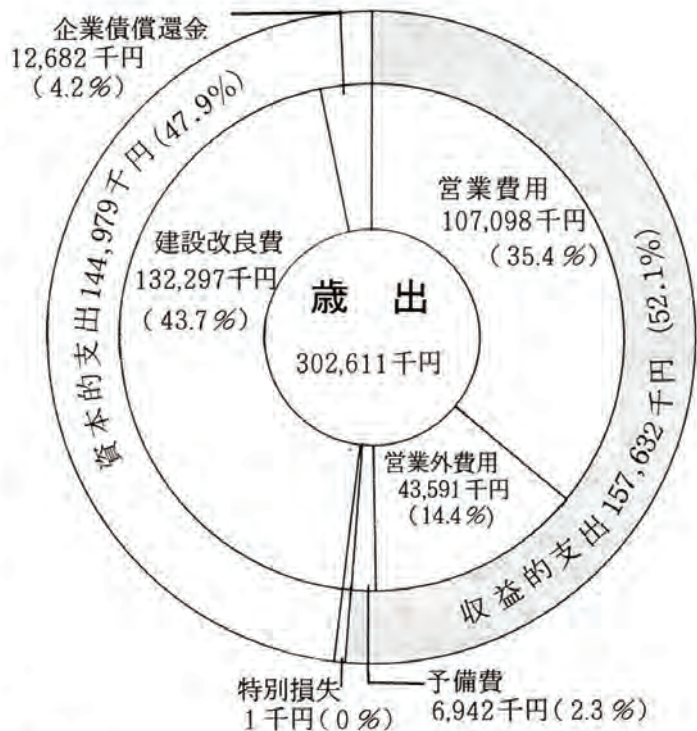
預金利子	2,000	△66.7	
その他	1,055	0	

## 営業費用

項目	金額	対前年度伸び率	備考
職員給与費	30,126	△10.8	職員給6名分
経常経費	36,958	2.4	原水浄水費、配水給水費他
減価償却費	38,813	0.9	
その他	1,201	△50.2	

## 営業外費用

企業債償還利息	42,590	△2.1	
消費税	1,000	0	
その他	1	0	



# 佐々町組織・職員名一覧表

平成2年4月1日付

◎印は係長・主任 ○印は主査 (兼)は兼務 (嘱)は嘱託 (委)は委託

町長 清原恵一郎	助役 小田村進	企画課	課長 大瀬 康政 補佐 森田 稔 補佐 松田 政喜	企画調整係 ◎菅 幸男・北村 葉子 企画振興係 ◎永安 文男・嶋崎 和幸 商工統計係 ◎(兼)森田 稔 国土調査係 ◎古野 英幸・○北川 敏夫
		総務課	課長 森田 迪夫 補佐 古庄 剛	総務係 ◎須藤 敏規・○大瀬 裕子・中村 正一・大瀬 三郎 (電交委)井上 明子・朝隈 博子 財務管財係 ◎(兼)古庄 剛・松本 孝雄・(嘱)松田 吉光・萩田 憲一 広報防災係 ◎大浦 富夫
		税務課	課長 宮村 昭彦 参事 菅 優	町民税係 ◎横田 憲治・阿部 豊 固定資産税係 ◎大瀬 忠昭・谷添 正人 納税係 ◎(兼)菅 優・太平 弘明
		生活課	課長 高島 愈 補佐 前川 隆行 補佐 重富 晶子	住民係 (総合受付担当) ◎ (兼)重富 晶子・○大久保アツ子・松本 留美 福祉係 ◎ (兼)前川 隆行・○山口 一子 住宅管理係 ◎浜野 夙
		保健課	課長 横尾章二郎 参事 松田 征男 補佐 前川多賀子	環境衛生係 ◎中村 正己・川崎 順二 国民年金係 ◎内野 晴美・力竹 哲也・水本 淳一 健康づくり係 ◎ (兼)前川多賀子・平杉 直美(保健婦)
		農林課	課長 佐藤 勝広 補佐 西嶋 敏彦	庶務係 ◎三好 邦彦 農政係 ◎松田 弘海・富田 広司・今道 晋次 耕地係 ◎ (兼)西嶋 敏彦・北村 英彦
		建設課	課長 小岸 元清 補佐 山下 裕康 補佐 山下 義則	管理係 ◎ (兼)山下 裕康・山本 勝憲 建設係 ◎浜田 能久・筒井 勝 維持係 ◎北村伸太郎・小村 登
		保育所	所長 天島 良夫	第一保育所 ◎佐々木テル子・○門田 清子・○柴山 政江・○末永ユウ子・富田 真弓・浦川 幸枝 第二保育所 ◎上野 増子・○松永 温子・○岡本道代・堤 富実代・松田 知子・福田 昭代 第三保育所 ◎永元フサ子・○上流 美子・○浦田佐美子・氏田恵美子・志水みどり・寺田八代子・宮島真知代
		水道課	課長 森 勲 補佐 吉良 忠男	業務係 ◎木原山龍文 施設係 ◎山口 澄夫・松本 康弘・横田 孝之
		下水道推進室	室長 永松 武幸 補佐 山本 邦夫	計画係 ◎前田 多聞 出納係 川内野 勉・指定金融機関派遣職員

## 教育委員会

教育長 木山 清栄

次長 野田 八郎	総務係 ◎川上 一郎・○築城 律子
参事 渊上 勝利	学校教育係 ◎ (兼)川上 一郎・○築城 律子 (嘱)橋場 修 佐々中学校 坂本美代子・山内 輝美・(委)松野ひとみ 石口小学校 森田 利子・池田きみえ・(委)出端 朝子 佐々小学校 野村 京子・小林 洋子・(委)福田 広子 佐々幼稚園 (園長)小岸 元弘・○山高ミドリ・○池田八恵子・西牟田文子 社会教育係 ◎鷲淵 育雄・(県派遣主事)永安 謙二・(嘱)松永 栄逸・山本 芳子 社会体育係 ◎山本 健一

議会事務局	事務局長 永井 良一・○田島 須美・中村義治
農業委員会	事務局長 黒石 正毅・○村上千鶴子
監査事務局	書記 ◎ (兼)岡本 省三
選挙管理委員会	書記長 (兼)森田 迪夫・書記長補佐(兼)古庄 剛・書記◎岡本 省三・書記(兼)須藤 敏規
診療所	事務長 中田満寿雄・内田 明文・吉田 節子 ◎橋口 正子・宮崎 勝子・田島佐和子・横田 絹子・丸田 文江・松本 智子
公民館	館長(兼)木山 清栄・管理人(委)福本 徳一・福本アイ子 図書室(委)松田 一世
勤労青少年ホーム	館長(兼)木山 清栄・指導員(嘱)志水 善三
学童農園	園長(委)末永 太一 (委)辻 陽一郎・(委)永石 克己・(委)永石ヤス子
文化会館	館長(兼)木山 清栄・管理員(委)山永 榮

佐世保広域圏北部塵芥処理一部事務組合

管理者(佐々町長) 清原恵一郎 事務局長 野田 龍夫・工場長 井村 操・◎坂本 斉・辻 重徳・山藤 健一